

【件名】

鎌倉大仏さまに家を

【内容】

私が大学生の頃見た大仏様とくらべて随分と酸化が進んでいます。

このままだと大仏さまが壊れてしまいます。奈良の大仏殿のようにぜひ酸性雨に濡れないようにしてください。長持ちすると思います。

世界に知れてる観光名所です。鎌倉市のためにも是非やってください。

【回答】

鎌倉大仏（高德院銅造阿弥陀如来坐像）は、国宝に指定されている、高さ 11.31m の巨大な坐像です。

かつては本像にも大仏殿がありましたが、15 世紀ごろに失われたと言われています。その後は「露座の大仏」として親しまれ、鎌倉を代表する風景にもなっています。

しかしながら、鑄造後 700 年以上経過した像であり、ご指摘のとおり、像本体の劣化や損傷、地震動の影響などが想定されています。今年度には、像の金属状態や震動特性などを把握するため、専門家による大規模な調査が実施されることになっています。この調査は、所有者である高德院が国・県・市の補助を受けて実施するもので、表面のクリーニングも併せて行うこととなっています。

調査により、大仏の現況を的確に把握した上で、早急に対策をとる必要がある場合には、来年度以降、さらなる保存修理事業を計画していくこととなります。

貴重な文化財である大仏を確実に守り、次世代へ引き継いでいくため、市としても、所有者である高德院をはじめとして、文化庁や神奈川県とも協力し、適切な措置が取られるよう、努力してまいります。

今後ともお気づきの点等ございましたらお気軽にご意見をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

平成 27 年 6 月 22 日対応／回答